

## アジア初の ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会 開催に向けて

ラグビーワールドカップ2019組織委員会

### ラグビーワールドカップについて

平成31年9月20日にラグビーワールドカップ2019日本大会が開幕する。アジアで初、そしてラグビー伝統国以外でも初めての開催となる。

平成30年1月19日には、ついに大会チケットの販売申込みも始まった。まずは、大会出場各チームのプール戦の全試合が対象となるチームパックスおよび各スタジアムのプール戦全試合が対象となるスタジアムパックスのチケットの抽選販売申込みを2月12日まで行ったところ、世界101の国と地域からのお申込みをいただいた。大会開催に向けて、まさに世界中のラグビーファンの注目が、この日本に注が

れているのである。

さて、まずは、このラグビーワールドカップについて、その特徴をお伝えしたい。

ラグビーワールドカップは、その規模から、オリンピック、サッカーワールドカップと並ぶ世界三大スポーツイベントの一つと言われている。昭和62年に第1回大会がニュージーランド・オーストラリアの共同開催で行われて以降、4年に1回開催されており、今度の日本大会が第9回大会となる。

開催を重ねるごとに観戦者数等が増えており、平成27年に開催された前回のイングランド大会では、観客総動員数が約247万人、海外から現地への観客数は46万人と推定されている。さらにテレビの視聴者数も40億人といわれている。

### 今回の日本大会について

次に今回の日本大会の概要についてお知らせしたい。大会開催期間は、平成31年9月20日か

ら11月2日までとなっており、全国12の試合会場で48試合が行われる。開催都市と試合会場については、大会公式ウェブサイト(rugbyworldcup.co.jp)をご覧ください。

大会出場チームは20チーム。前回大会の成績から日本を含む12チームと世界各地の予選を勝ち抜いた4チームの合計16チームの出場が決まっている(平成30年2月14日現在)。残り4チームについては、今なお世界各地で出場枠をかけた予選が続いており、今年の11月までには、残りの4チームが確定する予定である。

大会は、大きくプール戦と決勝トーナメントに分かれる。プール戦は20チームを5チームごとに4つのプールに分け、1つのプール内で5チームが総当たりで試合を行い、上位2チームが決勝トーナメントに進む。決勝トーナメントは、4つのプールから進んだ8チームで行い、トーナメントを勝ち抜いたチームが優勝となる。詳しい試合日程についても、大会公式ウェブサイトでお知らせしている。

## 大会開催に向けて～これまでの軌跡～

ここで、これまでの軌跡を簡単に振り返っておきたい。

ラグビーワールドカップ2019の日本開催は平成21年7月に決定した。その後、平成25年



試合日程の発表会

から平成27年にかけて開催都市選定を実施し、平成27年3月2日に12開催都市を決定した。

平成28年には、公認チームキャンプ地選定プロセスをスタート。共同応募を含め、90自治体から76件の応募をいただいた。

平成29年には、5月にプール組分け抽選会、11月には試合日程発表と重大なイベントを開催。また、優勝トロフィーの「ウエブ・エリス・カップ」を全国でお披露目するツアーも行った。そして、今年1月にはチケット販売申込みを開始。また、同じく大会マスケットの「レンジー」の発表も行っている。

### 大会開催がもたらすもの

大会開催に向けてあと約1年半。今春には、大会ボランティアの募集も始まる予定である。また、セット券に続き、通常チケットの販売申込みも2月から始まっている。ラグビーワールドカップに向けて、さらにその盛り上がりは加速していく。

大会開催に向けて盛り上がる中、われわれ組織委員会と開催都市に加えて、大会成功に向けて、政府や公認チームキャンプ地に立候補いただいた自治体、開催都市と密接に関わる自治体、日本ラグビーフットボール協会、三地域および各都道府県ラグビー協会、経済界の方々等、あげればきりが無いほどの皆さまにご協力をいただいている。

われわれは、大会ビジョンとして、「絆 協創



公式マスコットの「レンジー」

そして前へ」を掲げている。

この大会を契機に、日本と世界を強い絆で結び、アジアで初となるこの大会を誰も経験したことのない歴史に残る祭典として創り上げ、社会的、経済的に素晴らしい効果を残すものになりたいと考えている。

大会開催を通して、東日本大震災や熊本地震から復興する強い日本を世界に発信し、日本と世界との国際交流の推進、日本そしてアジアでのラグビー普及等を成し遂げていく。

ラグビーワールドカップ2019日本大会の成功に向けて、皆さまにもぜひご協力をお願いしたい。